

藤岡市



議会だより

◆発行日 平成22年11月15日 ◆発行 藤岡市議会 ◆編集 藤岡市議会だより編集委員会 ◆印刷 イシイ印刷株式会社
◆藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第52号



9月定例会の あらまし

定例会は、9月1日から9月17日までの17日間の会期で開催されました。

平成21年度藤岡市一般会計歳入歳出決算認定についてなど34議案が提出されました。

◇1日〓本会議 会期の決定。議案34件を上程、うち18議案を即決。

◇3日〓経済建設常任委員会。

◇8・9日〓決算特別委員会。

◇14・15日〓本会議 一般質問。

◇17日〓本会議 委員会付託議案16件を可決。

藤岡市災害協定建設協力会と締結した災害応援協定について

湯井 廣志

問 藤岡市では地震、風水害などの災害防止、災害発生時の救助活動、二次災害防止作業のマニユアルは出ているが、災害が発生すれば、マニユアル通りにはいかない。実際には、災害対応の中心となる公共施設も壊滅的な被害を受ける恐れもある。道路の寸断や河川が氾濫すれば、実際に災

害現場に行けるか、また、避難もできるかわからない。それをするためには、初動体制の確保並びに道路、河川等の公共土木の建築施設の応急工事を早急に実施し、機能の確保及び回復をすくにしなければならない。そのためには、市内で作業員や重機を常に確保している建設業者の応援が無くてはならない。藤岡市災害協定建設協力会は、きちんとこうした行動がとれるようになってきているのか、また、厳しい災害現場で献身的に災

害復旧に貢献する加盟業者には、入札業者指名に配慮する考えがあるか伺います。

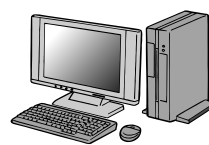
答 基本的には災害の場所、被害状況、工事内容を定めて出動要請しますが、緊急を要する場合には、自らの判断で工事が実施できることになっていきます。また、入札業者指名については、何らかの形で優遇措置ができるような制度を検討します。

自治体のソフト違法コピーについて

問 今、全国各地の自治体でパソコンソフトの違法コピーが発覚し、多額の損害賠償が発生して大問題になっている。藤岡市でこのようなことが発生しない為にも、導入するソフトの種類、ライセンスの有無や状況、ソフト管理台帳、監視システム等を早急に整備しなければならぬと考える。また、違法コピーが発覚すれば、罰金、ソフト購入費、

損害賠償が発生するが、税金で支払うのか、職員自ら支払うのか伺います。

答 藤岡市では、ソフト管理台帳を備え、ソフト管理責任者を配置して、現在行っています。また仮に、損害賠償等が発生した場合は、他の自治体の事例を参考に対応します。



鬼石地区の区の現状と今後について

山田 朱美

問 長い歴史と地理的条件によって作られてきた区を新しい行政区にするには、さまざまな問題があると思う。鬼石地区の現状を伺います。

答 鬼石地区は23区あり、行政区間における世帯数の不均衡、高齢化などで役員等の人材確保などに困難が生じているところもありま

す。この状況はさらに進行して行くと思われ、合併協定書の中にある、行政区の見直しを行う必要があると考えます。

問 区の統合にあたっては、地域の実情に配慮し、柔軟に対応することが必要と思うが、考えを伺います。

答 藤岡市では合併協定書に基づき、鬼石地区区長会議で素案を示し、説明してきました。また、今年度より、300世帯を1行政区

とした基準を示し、4つの地域で協議をしています。統合については、区の温度差はあるが、各区の連携を密に、平成23年度に新しい行政区でスタートできるように努力していきます。

学校給食について

問 学校給食センターでは、食材をどのように購入しているか伺います。

答 野菜については、地元業者を含め、月2回、一般物資は月1回の入札を行い、肉類は食肉組合と契約し、地元業者より購入しています。

問 食材は地産地消が理想です。ジャガイモなど根菜類の購入について伺います。

答 ジャガイモなど一部の食材はカット済の真空パックや冷凍物を購入しています。

問 カット済の真空パック食材は、栄養価や味も落ちる。また、献立にレトルト食品が多い。一つずつ作る、包丁を使った献立を多くできないか伺います。

答 調理方法等を工夫し、できるだけ手料理に近い給食、献立にしたいと思いま



**学校のアレルギー疾患
に対する取り組みにつ
いて**

窪田行隆

問 藤岡市における小・中
学生のアレルギー疾患の現
状を伺います。

答 市内の小・中学生で気
管支喘息が539人、アト
ピー性皮膚炎が351人、
食物アレルギーが347人、
アナフィラキシーは6人い
ます。

問 アトピー性皮膚炎の治
療には汗をシャワーで洗い
流すと効果的です。夏や体
育後に使えるよう、保健室
に温水シャワーを整備すべ
きです。体調不良などで体
を汚した場合にも使え、子
どもの体と心を守るため必
要と考えますが伺います。

答 藤岡市では保健室に温
水シャワーのある学校が1
校、保健室以外では11校あ
ります。今後は設置のない
学校や保健室以外にある学
校について、温水シャワー

のあり方を検討したい。

問 食物アレルギーなどの
アナフィラキシーショック
には、エピペンの使用が有
効です。救命のために全教
職員がエピペンの練習用キ
ットを用い、研修するべき
と考えますが伺います。

答 市内で現在2名の生徒
がエピペンを学校保管して
います。在籍校では研修等
を行っています。全職員
が研修をする必要があり、
今後対応したい。

学校給食について

いきたい。

問 食物アレルギーの子ど
もにはアレルギー除去食や
代替食を出すべきです。牛
乳アレルギーなら代わりの
飲み物を出すなど、少しの
工夫で可能なこともありま
す。市の考えを伺います。

答 センター方式では対応
できず、また経費の面から
実施していません。牛乳禁
止の児童生徒数は41人で、
牛乳に代わる飲み物の提供
については、今後検討して

問 給食費の負担軽減は、
子育て支援として有効です。
国が検討中の子ども手当の
上積み分の活用では、現物
サービスタとして給食の無料
化も対象とされています。
市の考えを伺います。

答 上積み分が市町村の裁
量による現物サービスタな
った場合には、子育て支援
に最も有効な現物サービスタ
を実施するため、検討して
いきたい。

河川の安全対策について

渡辺新一郎

問 烏川、神流川の提防の
安全性について伺います。

答 烏川、神流川の提防の
ある区間は国が直轄で管理
しています。烏川について
は、全川に渡って、まだ整
備が進んでいない状況です。
平成17年度に行った提防の
浸透に対する安全点検では、
烏川右岸、立石、中島地域
の約1・2キロメートルで
安全性が不足しており、平
成21年9月より提防の補強

工事を行っています。

問 5月までに工事が完了
するという約束が、なぜ10
月以降に延びたのか伺います。

答 近接する家屋等への工
事の影響の有無、事前の事
業損失防止調整や地域の要
望に沿った設計の見直しな
ど、準備に時間を要したと
の事です。

問 烏川緑地の駐車場整備
の予定があるか、また、広
さと、費用について伺いま
す。

**都市計画用途地域の
変更について**

答 舗装するには、河川法
第26条の河川区域内の工作
物の設置許可申請が必要で
す。面積は約1万6840
平方メートル、費用は約7
700万円かかります。

問 都市計画用途地域の更
更の目的について伺います。

答 平成21年度以降、土地
画整理事業の進捗に伴い、仮
換地指定が終了し、造成工事
の完了した地域及び工事が確

実に実施される見込みのある
地域を将来の土地利用構想
に基づき変更するものです。

問 今後のスケジュールを
伺います。

答 都市計画法第19条第3
項に基づき、群馬県との協
議及び同意を得て、藤岡市
都市計画審議会の諮問を得
て、10月中旬の告示に向け
法定手続を進めます。

問 10月上旬に決定しなけ
ればならない理由を伺いま
す。

答 暫定用途地域を指定す
る以前からの不適格建築物
もあり、地域の生活利便施
設であつても、事業完了後の維
持が不可能となってしまうた
め、将来の土地利用構想に合
致した、早急な都市計画用途
地域の変更手続が必要です。

問 北藤岡駅周辺土地画
整理事業に、影響はないか
伺います。

答 仮換地指定済の区域な
ので、事業に影響を及ぼす
事はありません。

安心して生活できる 街づくりについて

青木 貴俊

問 群馬県YOUNG防犯ボランティアの組織がありますが、どのような組織で、どのような活動をするのか、また、藤岡市からも参加している人がいるのか伺います。

答 本年度、群馬県と群馬県警察では、子どもや女性を初めとして、すべての人々が安全で安心して生活でき

る街づくりのため、私たちの街を守りたい、そうした志を持った若い世代の防犯ボランティアを募集したところ、県下全域で566名の応募があり、本年7月24日に群馬県庁で結成式が行われました。団体名は、「群馬県YOUNG防犯ボランティア協議会」と命名され、

主な活動内容は、防犯パトロール等や若い世代の規範意識、防犯意識の向上を目的とした広報啓発活動です。藤岡市では25名の登録者があり、9月16日に群馬県Y

OUNG防犯ボランティア藤岡地域部会設立総会が行われ、その後、警察や地域と連携を図りながら活動を推進していきます。

問 今年の6月に藤岡防犯ステーションが開所したが、現在の防犯活動の拠点としては不十分だと思う。今後どのように活用していくのか伺います。

答 今の防犯ステーションは暫定的な形でスタートしたが、色々な団体の皆さん

の力を借り、子どもたちや市民にとって、ここが心のよりどころ、また、安全の情報発信という形をつくり、行政が積極的にかかわる事で、もっともっと活用していきたいと思っております。

歩道整備の 推進について

問 現在設置されている歩道は、段差があり、非常に不便で、高齢者などが転んだり、危険を感じた事が度々あるようだ。私も段差の解

消が必要と強く感じるが、今後、歩道改修を進めていく考えがあるか伺います。

答 歩道改修工事は、多額の予算が必要だが、特に事業効果が見込まれる箇所や老朽化などによる危険箇所は、計画を立てて歩道改修を行い、歩行者の安全確保のために努力していきます。



下水道事業及び 特定地域生活排水処理 事業について

岩崎 和則

問 現在の市の財政状況下、汚水処理排水事業として全体計画を考えれば、早期実現には環境省が推奨している「市町村設置型合併浄化槽」の整備を現在の認定区域外の地域へ拡大していく必要がある。また、公共下水道事業及び特定地域生活排水処理事業の連携、両立による、将来の市民の負担

が少しでも軽減されるような整備計画が不可欠だと考える。更なる財政の健全化の促進を目指し、今後の整備計画について、市の方向性を伺います。

答 今後の整備については、市全体の汚水処理計画を作成し、現在の計画である1600ヘクタールを含め、公共下水道での整備区域と個別処理（合併浄化槽）等で整備を進めて行く方が望ましい地域を検討し、今後の汚水処理事業の方向を出

していくことが必要と考えます。

問 市の自然環境保全、生活環境整備の早期向上と、今後の取り組みについて伺います。

答 今後、益々汚水処理の向上を図り、快適な生活環境の創設や公共用水域の水質保全に努めていきたいと考えます。

問 汚水処理事業については、下水道、農村集落排水

等、合併処理浄化槽の3つがあると思うが、下水道は国土交通省、農村集落排水等は農林水産省、合併浄化槽は環境省と所管官庁が分かれています。厳しい財政状況の中で予算のムダをなくすことが課題だが、縦割り行政がそれを妨げている。効率的な観点や住民サービスの向上から考えれば、所管部署の統合、一元化も考え、今後、生活排水処理事業、生活環境整備に取り組んでいただきたいと思うが、市の考えを伺います。

答 生活排水対策の窓口については、現在、下水道課と環境課に分かれておりますが、今後は下水道課への統合を検討し、事務の効率化及び生活排水処理の向上を目指していきたいと考えます。



通学路の

安全確保について

針谷賢一

問 小野小学校に通学している児童は、県道前橋長瀬線バイパスに架かる森歩道橋、中歩道橋を渡る児童と、県道藤岡本庄線の横断歩道を渡る児童がいるが、それぞれ、どれくらいの人数が利用しているのか、また、どのような状況にあるのか伺います。

答 小野小学校は、全校児童が655名で、その中の188名、約3割の児童が県道前橋長瀬線バイパスに架かる歩道橋を利用し、また、約440名、約7割の児童が、県道藤岡本庄線の森の信号を横断し、学校に通っています。特に朝は、森の信号を横断する児童が集中する為、手押し信号は押し放しの状態になり、県道を通行する車両の渋滞にもつながり、大変危険な状況です。

問 県道藤岡本庄線は、片側一日あたり1万2600台あまりの交通量があり、非常に危険な場所です。今後、どの様にして、この横断歩道を利用する児童の安全を図っていくのか伺います。

答 交通量も非常に多く、児童が危険にさらされている状況でもあり、手押し信号では対処しきれない状況です。歩道橋を設置することにより、県道の交通渋滞の緩和と歩行者の安全を確保できるものと思います。歩道橋の設置については、今後、県と十分調整し、早急に設置できるように、進めていきたいと思えます。

観光行政の

推進について

問 来年7月から9月にかけて「群馬デステイネーションキャンペーン」が開催されます。藤岡市として、どのような取り組みをされるのか伺います。

答 「群馬デステイネーションキャンペーン」とは、地方公共団体などとJR6社の連携により、対象地域の観光資源を掘り起こし、全国から誘客を図ることを目的とした国内最大規模の大型観光キャンペーンです。今回のテーマが「心にググっとぐんま、わくわく体験新発見」としていることから、藤岡市においては、土と火の里公園で、通常の体験コースに加えて特別教室の開催を計画しています。

大規模指定既存集落

制度について

佐藤淳

問 制度の概要と導入目的について伺います。

答 市街化調整区域に独立して一体的な日常生活圏を構成している大規模な既存集落であって、市長が指定した集落内において一定条件を満たす方が、自己用住宅あるいは自己用の工場、事務所、倉庫、店舗、運動レジャー施設が建築できる

制度です。導入目的は、市街化調整区域内の既存集落においても人口減少社会を迎え、その問題を解決する方法の一つとして本制度の導入を図るものです。

問 指定の基準について伺います。

答 公民館、鉄道の駅、小学校、中学校のいずれかの施設がある事。概ね200戸以上の建築物が連たんしている集落である事。戸数密度が1ヘクタール当り10

ます。

問 世帯主の三親等以内の親族との事ですが、姻族の場合にはどうなるのか伺います。

答 これは直系、傍系を問わないという事です。

問 指定された土地の固定資産税の取り扱いについて伺います。

答 指定された土地の固定資産税は、一般農地と同じで、今までと変わりません。

問 住民あるいは地権者を中心とする利害関係者に対して、説明会を開催して

ただけるのか伺います。

答 説明会につきましては、当然担当する課、係が赴いて、現地関係者との意見交換等をしていきたいと思っております。その時期は、年明け後になると思えます。



国民年金について

茂木光雄

問 担当窓口の業務内容、事務体制と受給者確認等について伺います。

答 市町村が行う事務の主なものは、国民年金第1号被保険者からの資格取得、喪失、種別の変更等に関する届け出、被保険者からの任意加入・資格喪失の申し出及び保険料の免除申請等と第1号及び任意加入の被保険者からの年金手帳の再

交付申請を受理、審査し、年金事務所に報告する事。また、受給権者から第1号被保険者期間のみの老齢基礎年金及び第1号被保険者の死亡による遺族基礎年金並びに寡婦年金の裁定請求や、第1号被保険者期間、60歳以上65歳未満、20歳前に初診日がある障害基礎年金及び障害基礎年金改定請求、死亡一時金等の給付に係る申請等を受理、審査し、年金事務所へ報告することなどがあり、2名の職員が対応している。8月1日現在

在100歳以上の高齢者は、29名住民基本台帳に登録されており、生存の確認は、介護高齢課が実施し、介護保険の利用状況や医療情報の確認、また、百寿表彰時の方の生存が確認されています。

市街化調整区域について

NSN

問 大規模指定既存集落の指定候補地と作業内容、道路幅員について伺います。

答 現在、群馬県の指定基準により、区域の指定等の作業を行っているが、核となる学校等の施設要件、農振農用地、住居連たん等により、区域設定が難しい区域があると認識している。今後のスケジュールとしては、区域ごとに戸数密度1ヘクタール10戸の確認と、道路と水路などの地形、地物により区域の境界を決定し、9月下旬に区域案を作り、農政関係課と調整会議を行った後、県の建築住宅課と事前協議に入る。県との協議については、素案としているものが、県の指定基準に沿って作業を進めているので、来年4月1日の導入に向けて、何とか間に合うと思っている。また、道路の幅員の規制については、都市計画法施行令の中で、6メートル以上20メートル以下と決められており、4メートルで十分ではないかということ

は論外である。



地球温暖化対策について

斉藤千枝子

問 この夏は、記録的な暑さで熱中症による死亡者が全国で500人以上、野菜も値上がりし、暮らしにも影響が出ています。藤岡市地球温暖化対策実行計画の進捗状況と課題を伺います。

答 実行計画は、藤岡市の事務事業に伴い排出される温室効果ガスを平成18年度に対し、5年間で6%削減

する目標の計画です。平成21年度は、1.4%削減となりましたが、廃プラスチックの焼却量の削減が課題であり、今後も重点項目です。

問 実行計画は、藤岡市全体で排出している温室効果ガスの3.5%です。残り96.5%を排出している市民や事業者の方と共に、削減目標や情報を共有する地域推進計画を策定すべきと考えますが伺います。

特別支援教育について

平成19年から特別支援

問 平成19年から特別支援教育がスタートし、すべての学校において、発達障がいを含む障がいのある児童生徒の支援をさらに充実していく事となっています。藤岡市の取り組みの状況を伺います。

答 藤岡市では、子ども課の設置で窓口を一本化した事により、発達障がい児の早期発見、支援、関係機関との連携、また、保護者への支援体制が確立されました。教職員についても、国のモデル事業の指定を受け、専門性の向上と支援体制の構築など、実践研究を進めています。支援が必要と思われる児童生徒について、個別の教育支援計画を作成し、全校体制で指導に当たっています。

問 発達障がい児の中で、読む事が困難な児童生徒に、デイジー教科書（パソコンなどを活用し、通常の教科書の文章を音声で再生し、対応する文章を色で強調することが出来る教科書）の活用ができないか伺います。

答 各学校に情報機器が整備され、デイジー教科書の活用が可能となった。今後、実際に活用し、有効性や可能性について検討していきたい。

市営住宅建設について

渡辺 徳治

問 市営住宅は、所得の少ない人でも、結婚し、安定した生活ができる住まいとして、市民に喜ばれてきました。しかし、現在の市営住宅は、老朽化した建物ばかりが目につきます。新しい住宅は、県営住宅や民間のマンションだったりします。その家賃は3万数千円から4万円と聞き、所得の15%から20%が家賃として支払われています。老朽化

した市営住宅は、朽ち果てるのを待つのでなく、一定の予算をとって「文化的な最低限の生活を保障」すべきであると考えるが伺います。

答 現在、管理している市営住宅の修繕については、入居者から修繕依頼を現地を確認し、明らかな過失によるものを除き、市において修繕を行っています。その費用として年間800万円程の予算を計上しています。

問 10年後は住宅必要戸数の推計は減少するというが、新しい世帯を持つために家を探す人は、老朽化した市営住宅を見て、入居したいとは思わない。城屋敷市営住宅など、新しい市営住宅はいつも待機者がいる。裾宜林市営住宅構想の具体化は、市の責任だと思いが伺います。

答 今後、団地別、住棟別に詳細な計画を検討し、建て替え等も検討します。

高齢者対策について

問 ひとり暮らし世帯と老々世帯の実態把握について伺います。

答 ひとり暮らし高齢者は、平成22年度は、1312人です。県内ひとり暮らし高齢者の実態を把握し、今後の高齢者保健福祉対策等の基礎資料を得ることを目的に、群馬県の指導のもと、昭和45年度よりひとり暮らし高齢者調査票として、6月1日を基準日に、65歳以

上のひとり暮らし高齢者に対し、民生委員に調査をお願いしています。次に、高齢者夫婦の把握については、現在、世帯数のすべては把握していませんが、必要に応じて市の保健師や在宅介護支援センター等が訪問し、介護高齢課で所管する高齢者台帳に登載し、対応しています。



高齢者の自立生活について

阿野 行男

問 高齢社会を迎えた日本、高齢者に対して様々な問題が多発している。高齢者に対する虐待や孤独死の増加等が挙げられ、今後は、高齢者の見守りが大きな課題となっていく。介護保険に頼らない高齢者の中には、買い物困難な方が増えているが、藤岡市の現状について伺います。

答 藤岡市社会福祉協議会に委託し、自立型ホームヘルプサービス事業を行っている。週1回1時間程度訪問し、買い物や食事のお世話、部屋の掃除、洗濯などを行っている。平成21年度の利用人数は、延べ621人でした。

問 10年後は住宅必要戸数の推計は減少するというが、新しい世帯を持つために家を探す人は、老朽化した市営住宅を見て、入居したいとは思わない。城屋敷市営住宅など、新しい市営住宅はいつも待機者がいる。裾宜林市営住宅構想の具体化は、市の責任だと思いが伺います。

答 今後、団地別、住棟別に詳細な計画を検討し、建て替え等も検討します。

八高線電車化促進 期成同盟会について

問 藤岡中央高等学校、公立藤岡総合病院附属外来センター、ららん藤岡などの公共施設が1つの場所に集積された。この地に新駅ができれば利用者の利便性が高まり、利用者の拡大にも

つながると思うが、市の見直しを検討している。市民が利用しやすい移動方法等の検討を行い、特に高齢者の方が安心して移動できる方法を研究していきたい。

答 新駅が設置されれば、駅から徒歩での通学も可能になるし、通院患者の利便性の向上にもつながると思う。今後、藤岡インターチェンジ周辺や当該地区の開発の動向と合わせ、新駅設置の必要性や財政負担等を踏まえ、検討していきたい。八高線電車化期成同盟会においても協議を深めていきたい。

総務常任委員会報告

所管調査

調査年月日 ● 平成22年8月3日(火) 午前10時より

近年、学童の登下校時における犯罪が多発し、保護者、各自治体は大きな問題を抱えております。地域の自主安全パトロール隊及び防犯灯は、子供達を犯罪から守るためには、不可欠です。それぞれの実態について、藤岡市に初めて開学した4年生大学、群馬医療福祉大学看護学部(藤岡キャンパス)と藤岡市との地域連携について、調査を実施しました。

時から4時までの間、通学路などで児童の見守りを行い、安全確保を図っています。

地域自主安全パトロール事業について

地域自主安全パトロール隊は、市内11小学校区で、10の組織が出来ており、総隊員数2349名の団体で、各小学校の下校時間に合わせ、午後2

本年度は、各地域に13基の青色回転灯を配布し、自家用車に装着、巡回してくれる方を募集しており、非常に良い事だと思われました。また、警察、行政、地域と連携し、情報交換の場として、今年6月に藤岡防犯ステーションが開所されました。

今後、警察、行政が中心となり、学校、地域の協力を得ながら、子供達の安全を守らなければならないと強く感じました。



LED防犯灯設置事業について

LED防犯灯設置事業は、平成21年度地域グリーンニューデール基金

の助成を財源に事業を実施しています。国から6億9000万円、県から1億1000万円の基金を活用し、地球温暖化対策の推進事業として、3ヶ年の事業で、防犯灯の1割に当たる420灯をLED防犯灯に交換するものです。

LED防犯灯は、照明器具の寿命が長く、メンテナンス費用もかからないメリットはあるが、1基当たり、1万8000円と高価であるため、今後の普及に向けた取り組みが課題だと感じました。

群馬医療福祉大学看護学部について

群馬医療福祉大学看護学部(藤岡キャンパス)は、今年4月に開学し、現在、定員80名のところ、96名の学生が学んでおり、その1割が男子学生との事でした。

開学前までは、市と大学に窓口がなく、連携方法が不透明であったが、双方に窓口ができたことにより、より内容の濃い

地域連携に向けた協議がされていくと思われ、今後も大学の知識を活かした公開講義やオープンキャンパスなど、さらなる連携が期待されます。



- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 渡辺新一郎 |
| 副委員長 | 松村晋之 |
| 委員 | 山田朱美 |
| 委員 | 茂木光雄 |
| 委員 | 冬木一俊 |
| 委員 | 佐藤淳 |
| 委員 | 隅田川徳一 |
| 委員 | 吉田達哉 |

● 藤岡市議会会議録検索システムが稼働しました ●

会議録検索システムとは、藤岡市議会での議員や市長、市の職員が発言した記録（会議録）を検索・閲覧できるシステムです。

ある特定の言葉、例えば「介護保険」や「ららん藤岡」などのキーワードで検索すると、その言葉を発言した部分の会議録と発言者が表示されます。

また、「老人」で検索した場合、「高齢者」や「シルバー」、「年配者」などの同義語も一緒に検索することもできますし、「老人」だけに絞り込んだ検索も可能です。

検索の対象期間・範囲は、平成18年1月以降の本会議及び予算・決算特別委員会の会議録です。

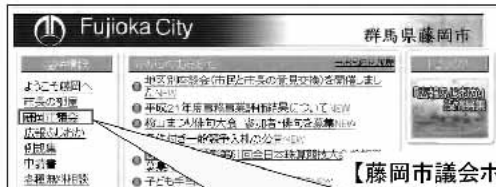
インターネットが使える環境であれば、どこでも検索できます。関心のある事柄について、議員や市長がどんな発言をしているか、一度ご覧ください。

藤岡市議会ホームページアドレスは、<http://fujiooka.gijiroku.com/>ですが、藤岡市の公式ホームページの「藤岡市議会」からも、ジャンプできます。

10月1日より藤岡市議会会議録検索システムが配信されました。
(これに伴い、藤岡市議会ホームページもリニューアルしました。)

アドレスは <http://fujiooka.gijiroku.com/> となります。

【藤岡市公式ホームページ】



【藤岡市議会ホームページ】



市議会を傍聴しよう

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。

傍聴希望者は、市役所2階議会事務局前の傍聴人受付へ申し込んでください。

問い合わせ

市議会事務局 (☎@1211 内線2361)

◎掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや図書館・市役所相談室で会議録(11月下旬公開予定)をご覧ください。

秋も一段と深まり、朝夕は、肌寒く感じる季節となりました。

10月9日から17日まで、藤岡市中国江陰市友好都市締結10周年記念フェスティバルが開催され、また、11月1日からは桜山のライトアップ、12月1日には、桜山まつりが開催されます。我々市議会も、市民と行政が一体となった取り組みが活発に行われるよう働きかけてまいります。

9月定例会市議会は、平成21年度一般会計歳入歳出決算認定をはじめ、各議案等の議決を行いました。

また、一般質問は12名の議員が行い、市政や事業をただし、活発な質疑応答が行われました。

今年も残すところ1ヶ月半となりましたが、市民の皆様が安心して日々暮らせますよう、議会も一層の努力をさせていただきます。

- | | | | |
|----|----|------|----|
| 委員 | 湯井 | 副委員長 | 湯井 |
| 委員 | 吉達 | 委員 | 松田 |
| 委員 | 廣達 | 委員 | 窪田 |
| 委員 | 渡辺 | 委員 | 冬木 |
| 委員 | 佐藤 | 委員 | 反町 |
| 委員 | 清淳 | 委員 | 佐藤 |

編集後記

議案等審議結果〈9月定例会〉

番 号	件 名	結 果
(市長提出議案)		
報告 8 号	健全化判断比率の報告について	報告
報告 9 号	資金不足比率の報告について	報告
報告10号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	報告
諮問 2 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし(全員一致)
第 59 号	副市長の選任について	同意(多数)
第 60 号	教育委員会委員の任命について	同意(全員一致)
第 61 号	藤岡市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 62 号	藤岡市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 63 号	藤岡市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 64 号	藤岡市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 65 号	藤岡市税条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 66 号	藤岡市都市公園条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 67 号	藤岡市都市公園運動施設管理条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 68 号	市道路線の廃止について	可決(全員一致)
第 69 号	市道路線の認定について	可決(全員一致)
第 70 号	平成22年度藤岡市一般会計補正予算 (第 2 号)	可決(全員一致)
第 71 号	平成22年度藤岡市老人保健事業特別会計補正予算 (第 1 号)	可決(全員一致)
第 72 号	平成22年度藤岡市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 1 号)	可決(全員一致)
第 73 号	平成22年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算 (第 1 号)	可決(全員一致)
第 74 号	平成22年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算 (第 1 号)	可決(全員一致)
第 75 号	平成21年度藤岡市一般会計歳入歳出決算認定について	認定(多数)
第 76 号	平成21年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全員一致)
第 77 号	平成21年度藤岡市老人保健事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全員一致)
第 78 号	平成21年度藤岡市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全員一致)
第 79 号	平成21年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全員一致)
第 80 号	平成21年度藤岡市介護老人保健施設特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全員一致)
第 81 号	平成21年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全員一致)
第 82 号	平成21年度藤岡市学校給食センター事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全員一致)
第 83 号	平成21年度藤岡市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全員一致)
第 84 号	平成21年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全員一致)
第 85 号	平成21年度藤岡市簡易水道事業等特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全員一致)
第 86 号	平成21年度藤岡市三波川財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定(全員一致)
第 87 号	平成21年度藤岡市水道事業会計決算認定について	認定(全員一致)
第 88 号	平成21年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計決算認定について	認定(全員一致)